



本村幼稚園 3月の園だより

令和4年2月28日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

チャレンジし続ける子供たちへ

園長 山村 登洋



早いもので3月を迎えました。今年度1年間、新型コロナウイルス感染症による教育活動の制限等はありませんでしたが、保護者、地域の皆様のご協力のおかげで無事に、安全に進めることができました。ありがとうございました。

そして、3月はお別れの季節の季節。はと組の子供たち、保護者の皆様は多くの本村幼稚園の思い出を胸に修了を迎えることと存じます。これから進学する小学校でのご活躍を願うとともに、各学校の方針を理解し、協力し、歩いていくことを期待いたします。

先日の「生活発表会」は、分散開催ではありましたが、保護者、地域の皆様のご協力のもと、はと組、りす組それぞれの年齢の発達段階での成長を披露する素敵な機会とすることができました。ありがとうございました。

私は、日頃からいろいろな場面でチャレンジ=挑戦について、言葉や表現を変えながら具体的に話をしてきました。チャレンジしてもいつも成功することだけを期待してはならない。むしろ、失敗することの方が多いかもしれない。その失敗から逃げずにやり続けることが大切である。成功からも失敗からも必ず学ぶことがある。そこには当然ながら修正や改善、反省が含まれることは言うまでもありません。こんなことを時あるごとに話してきました。



決して子供たちにとっては簡単な内容の話ではありませんが、それでも何かが伝わっていることが実感できます。例えば、3月に開催される「チャレンジタイム」発表会です。タイトル通り、このチャレンジタイムは、子供たちが自分自身でこの1年間の成長を感じるよい機会となります。その中で、駒回しや縄跳びにチャレンジする子供たちが多くいます。当日を迎えるまでに子供たちは何十回、いや何百回もの練習、チャレンジを続けてきました。失敗すれば、自分で考えて再チャレンジする、上手にできるお友達にやり方を聞く、逆に上手にできるお友達ができないお友達にコツを教えてあげる。そのような活動の中で、子供たちの技量はどんどん上がっていきます。相乗効果で、途中で投げ出す子供たちもほとんどいません。そんな姿を

見て、私たち教職員は喜びを感じています。本年度も残すところあと一ヶ月、この後も園では子供一人一人の成長を認め、もっともっと大きくなって修了式、終業式を迎えられるよう教育活動を進めてまいります。また、新年度を迎えるにあたり、子供たちに進学、新級への希望をもたせていくようにもしてまいります。



最後になりますが、この1年間、本村幼稚園、そして子供たちを影から支え、応援していただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。「ワンチーム本村幼稚園」最高でした。